

6. 農業生産振興事業

(予算額)113,845千円うちR6当初計上34,150千円
(所管課)農業支援課

○国や県が展開する各種補助事業を活用した農業生産体制の強化に資する共同利用施設等の整備に要する経費

現状・課題

- 競争力の高い農業の振興を図るため、安定した農業生産体制や集出荷体制の整備を促進することが必要不可欠。
- 台風等の気象災害の影響を受けにくい耐候性ハウスや先進的な技術を導入している選果場等の集出荷施設は、整備コストが高額であるため、農業者の負担を軽減する必要がある。

事業概要

○事業費:113,845千円

○事業内容

- (1) **国** 産地パワーアップ事業【79,695千円】 ※2月補正前倒し
収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、計画の実現に必要な農業機械の導入、集出荷施設の整備等を総合的に支援する。
- (2) **県** 攻めの園芸生産対策事業【14,548千円】
生産力向上や品質向上、コスト低減などにより農業所得の最大化を目指す農業者の団体に対し、施設の整備、農業機械の導入を支援する。
- (3) **県** くまもと土地利用型農業競争力強化支援事業【19,602千円】
土地利用型農業の競争力強化を図るため、地域営農組織の規模拡大や低コスト新技術の導入を支援する。

イメージ図

産地パワーアップ事業
(低コスト耐候性ハウス整備)



攻めの園芸生産対策事業
(谷換気自動開閉装置導入)



くまもと土地利用型農業競争力強化支援事業
(大豆コンバイン導入)



攻めの園芸生産対策事業
(全天候型マルチ施設導入)

